

学校長の言葉

春の息吹に心和らぐ季節となりました。ただ今入学許可をいたしました272名の新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

本日、新型コロナウイルス蔓延防止のため、保護者の皆様並びにご来賓の皆様のご臨席を賜うことができませんでした。また、放送による式典となってしまいました。このような状況ではありますが、今この瞬間の新鮮で謙虚な気持ちを忘れることなく、どうか本校で有意義な3年間を過ごしてください。

さて、簡単に学校の紹介をいたします。伊志田高校は昭和51年に開校されました。伊勢原市石田の地に開校するに当たり、校名には伊勢原という地名と石田という地名の両方を入れる要望が出され、地名からくる「いしだ」の「伊」と「田」の間に「志（し、こころざし）」の一字を入れ、読みも「いしだ」として決着したとのことです。「志（こころざし）」によって地域とつながっている学校です。

では、伊志田高校の「志」とは何でしょうか。伊志田高校は平成元年から学校の特色として国際理解教育を推進しておりますが、昨年度（平成31年度）から3年間、県教育委員会より「グローバル教育研究推進校」の指定を受けました。変化の激しい時代に対応し、世界に貢献できる人材を育成することが伊志田高校のミッションだと考えています。ぜひ、皆さんには「世界に貢献する」、そんな志を持ってもらいたいと思います。

今日、人類が直面している問題の多くには正解がありません。地球環境、人口、医療、経済など、解決への対策を考える際に、答えのない問題が山積みしています。現在、地球上の至る所で感染が拡大している新型コロナウイルスの封じ込めはその典型でしょう。この感染症の拡散を目の当たりにして、現代の人々の活動や経済社会の仕組みがいかに関境を越えたものとなっているのかを私たちは今実感しています。人類全体が取り組まなければならない課題の解決に向けて、互いの違いを認め、多様性を尊重し、様々な知恵を出し合っていくことがますます重要になっています。正解はどこにも用意されていません。自分の頭で誰も答えを知らない問題に挑戦し、その解決策を考え、世界に貢献できる人材になることを期待しています。

「貢献」を英語にすると「contribution」と言います。中学校では習っていない単語ですが、ぜひ覚えてほしいと思います。伊志田高校の生徒の皆さんには、いつも「3つのC」を大切にしてほしいと話しています。新入生の皆さんにも、この3つの「C」で始まる言葉を贈りたいと思います。その3つとは、「challenge」、「continuation」（これもまだ習っていない単語ですが、「継続」という意味です）、そして「contribution」です。challenge、志を高く掲げ、秘めた可能性に精一杯挑戦してください。そして、continuation、あきらめずにやり続けましょう。3つめはcontributionです。グローバルな視点に立って思考し、世界の平和・福祉・発展のために貢献できる人間として大きく育ってください。

では、272名一人ひとりが、伊志田高校生としてのプライドを持って、3年間努力し、成長し、新しい時代をつくっていきましょう。通常の授業が開始できない状況ではありますが、どのような状況であっても、本校での学校生活が充実した実りある日々になりますことを願って、入学にあたっての祝辞といたします。